

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## DBJプライベートリート投資法人（証券コード：-）

### 【据置】

長期発行体格付  
格付の見通し

AA-  
安定的

### ■格付事由

- 日本政策投資銀行（DBJ）をスポンサーとする総合型の非上場のオープン・エンド型投資法人で資産運用会社はDBJアセットマネジメント。環境・社会への配慮に優れ、将来にわたってサステナブルと認められる物件（DBJ Green Building 認証を含む環境認証取得物件（取得見込みを含む））への投資を基本方針としている。大規模オフィスビルを中心に、住宅・商業施設・産業施設を主な投資対象としており、現行ポートフォリオは35物件、取得価格総額は1,825億円の資産規模となっている。
- 運用開始以降、定期的な増資を絡めながらスポンサーサポートおよび幅広いソーシングルートを活用により、資産規模は緩やかながらも拡大、物件分散が図られている。賃貸事業運営においては好調なマーケット環境も背景に、直近26年4月末時点のポートフォリオ全体の稼働率が99%以上と高水準を維持しているほか、オフィスを中心に賃料増額の実績も確認できる。これらの安定したトラックレコードや、良質なオフィスビルを中心としつつも多様なアセットタイプで構成されている点を考慮すれば、引き続き安定した賃貸運営は可能とJCRでは考えている。財務面ではレバレッジコントロールの状況などからみて健全な財務運営が維持されている。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- スポンサーであるDBJグループは、不動産投資・開発に加え、顧客企業に対するCRE戦略支援なども手掛けており、多様なパイプラインを有している。本投資法人においても、スポンサーサポート契約に基づく物件取得機会の活用などを通じて、今後の外部成長の進展が期待される。内部成長については、本投資法人では物件ごとに最適なPM会社を選定することで、賃貸運営の効率化や収益性向上を図っている。また、スポンサーグループが有する不動産運営に関する知見や情報ネットワークも活用しながら、安定的な運営体制を構築している。
- 含み益を考慮したLTVは、40%前半の水準で安定的にコントロールされているなど、財務の健全性は確保されている。なお、本投資法人では、各期の払戻対象口数を原則として発行済投資口数の一定割合に制限することで、LTVが大幅に上昇するリスクを抑制している。デット・ファイナンスでは、足元の金利上昇を踏まえた借入期間や固定金利比率のコントロール、返済期限の分散化を企図した調達が続いている。総じて、足元の財務運営に特段の懸念はないものの、JCRでは安定したLTVコントロールの継続に注目していく。

（担当）秋山 高範・古口 雄介

### ■格付対象

発行体：DBJプライベートリート投資法人

### 【据置】

| 対象      | 格付  | 見通し |
|---------|-----|-----|
| 長期発行体格付 | AA- | 安定的 |

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年6月17日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：秋山 高範  
主任格付アナリスト：秋山 高範
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「J-REIT」（2017年7月3日）として掲載している。
5. 格付関係者：  
（発行体・債務者等） DBJプライベートリート投資法人
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル